

## 令和4年度 FD 実施計画書・報告書

令和5年4月現在

## I 学部学科・研究科名

栄養科学研究科

## II-1 実施計画①【概要】

## II-2 実施報告①【概要】（年度末記入）

取組No.	A FDセンター重点項目	FD2021 取組項目	A FDセンター重点項目 達成内容
1	DP 達成度評価の現状と課題抽出・計画策定 ・DP ルーブリックの策定に向けた問題検討, 目標・計画設定 ・DP ルーブリックに関するアセスメントプランの検討	I-1-(1)	現行の DP ではルーブリックによる評価が困難であることが明らかになってきたため、第7回栄養科学部研究科委員会にてこの問題について提議され、DP 修正に関する案が検討された。DP ルーブリック作成にあたっては、学会発表の有無等も評価基準に盛り込むか検討し、DP ルーブリックに対するアセスメントも検討した。
2	授業ルーブリック・課題ルーブリックの推進 ・各学科におけるルーブリック導入率（授業ルーブリック・課題ルーブリック）の向上 ルーブリック共通フォーマット導入の検討	I-2-(1)	授業ルーブリック・課題ルーブリックの導入について周知を図り推進を行った。ルーブリック共通フォーマットの導入は今後の課題となった。 授業ルーブリックまたは課題ルーブリックの導入率は 14.0%だった（KPI40%）。
3	Society 5.0 の到来に備えた DP/CP の見直し ・数理・データサイエンス・AI に関連する科目等のカリキュラム化	I-1-(4)	数理・データサイエンス・AI に関連する科目の導入について検討を行い、統計処理およびデータサイエンス等の教育は、これまで通り、実験実習科目のなかで導入することが適切と考えられた。
4	「成績評価ガイドライン(仮)」のポリシー策定	I-2-(2)	「成績評価ガイドライン(仮)」ポリシー策定については検討を続けている。
5	各学科・研究科内 FD 研修会と情報共有の場の推進	I-2-(3)	第1回 学科・研究科 FD 研修会（4月28日）にて、DP に対する情報を共有した。 第4回 学科・研究科 FD 研修会（2月24日）にて、成績評価に関する情報を共有した。
取組No.	B その他取り組み項目		B その他取り組み項目 達成内容
6	「博士後期課程プレFD」の努力義務化に向けた検討 <研究科教員全員>		博士後期課程大学院生の教育実践経験として、大学院生1名に疾病・生化学部門の実験実習のサポートとして協力して貰い、その後経験したことについて討議し、教育能力の向上を図った。 令和4年度教育ワークショップに参加し、議論・検討を行った

Ⅲ-1 実施計画②【詳細(実施事項・内容、実施組織、評価項目等)】

Ⅲ-2 実施報告②【詳細(実施事項・内容、実施組織、評価項目等)】 (年度末記入)

取組 No.	予定時期	内容	実施日	達成内容(未達の場合は理由を記載)
1,3,4	11月、2月	DP 達成度評価の現状と課題抽出・計画策定 ・DP ルーブリックの策定に向けた問題検討, 目標・計画の検討 ・DP ルーブリックに関するアセスメントプランの検討 ・大学院にて学習する統計解析に加えて、数理・データサイエンス・AIに 関連する科目等の新規設置の必要性について意見交換 「成績評価ガイドライン(仮)」のポリシー策定	4月28日 2月24日	第1回学科・研究科FD研修会をFDセンター委員が行い、教員がDPに対し て理解を深めた。 第4回 学科・研究科FD研修会を学科主任が行い、成績評価に関する情報を 共有した。
5	9月	栄養科学研究科内FD研修会と栄養科学科、フード・マネジメント学科お よび食物栄養学科、合同で各教員の研究を紹介する。また、研究プロジ ェクトの成果を報告する。<研究科・学科全教員>	9月14日	令和4年度教育ワークショップにて、研究科長が栄養科学研究科におけるFD の状況について報告し、今後の課題について議論した。
1,2	9月	教育ワークショップを踏まえたルーブリックの推進 <研究科全教員>	9月14日	令和4年度教育ワークショップにて、ルーブリック推進にむけて栄養科学研 究科教員が情報共有した。
6	6~8月	「博士後期課程プレFD」の努力義務化に向けた検討	11月30日	第7回研究科委員会にて、博士後期課程プレFD導入むけての議論を行った。